

授業科目	保育の表現技術Ⅲ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21623J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	平野 宏美							
授業概要	保育実践で必要となる身体表現・音楽表現・造形表現・言語表現を総合的に発揮するための知識・技術を教授すると共に、実際に演習形式で体験する。本授業では、特に造形的表現を手掛かりに総合的な保育技術の向上を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	代表的な幼児の表現活動について理解し、展開の仕方がわかる(DP1-2) 幼児の表現を引き出すための関わりができる(DP3-2) 幼児の表現活動に関わる表現について、積極的に体得しようとする(DP4-3) 幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開ができる(DP5-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)					10		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				10			10	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)				10		10	20	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				30	20	10	60	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
幼児の表現活動について、複数のソースから情報を得て、展開について自分自身の考えを言葉で説明できる。 授業外で積極的に幼児と関わる機会を設け、表現活動について自身の方法を有している。 複数の表現手法について、授業外で身に付けようとしている。 幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開について、その根拠が説明でき、保育計画を基に環境を通した保育の展開ができる				代表的な幼児の表現活動について理解し、展開の仕方がわかる 幼児の表現を引き出すための関わりができる 幼児の表現活動に関わる表現について、積極的に体得しようとする 幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開ができる				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価について説明する	講義	半期間で出す課題について整理しておくこと	30
2	表現技術について 1: 幼児の表現について 乳幼児の表現とそれを引き出す保育者の表現技術の関係性について解説する	講義	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
3	表現技術について 2: 保育者に求められる表現技術 保育者の表現技術の内容、手法について説明する	講義	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
4	保育の表現技術 1: 身体的表現に関する知識 身体的表現に必要な知識を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
5	保育の表現技術 2: 身体的表現に関する技術 身体的表現に必要な実践技術を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
6	保育の表現技術 3: 造形的表現に関する知識 造形的表現に必要な知識を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
7	保育の表現技術 4: 造形的表現に関する技術 造形的表現に必要な実践技術を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
8	保育の表現技術 5: 音楽的表現に関する知識 音楽的表現に必要な知識を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
9	保育の表現技術 6: 音楽的表現に関する技術 音楽的表現に必要な実践技術を教授する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
10	造形表現の技術 7: 乳幼児に造形表現 乳幼児の造形に関連する発達、表現技法について説明する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
11	造形表現の技術 8: 乳児の造形表現と指導法 乳幼児の造形表現を引き出す保育の展開について説明する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
12	造形表現の技術 9: 3歳未満児の造形表現と指導法 3歳未満児の造形に関連する表現技法を経験する	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
13	造形表現の技術 10: 幼児の絵画表現について 3歳以上児の造形に関連する表現技法を経験する 【絵画】	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
14	造形表現の技術 11: 幼児の制作活動について 3歳以上児の造形に関連する表現技法を経験する 【製作】	講義 演習	復: 授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
15	まとめ 半期間の各要素のまとめと総合的な保育の展開方法について説明する	講義 演習	復: 半期間のまとめとして課す課題の提出	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	幼児が使う造形に関わる道具(ハサミ・カッター・絵具・クレパス等)について、事前に使用しておくこと			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜指示する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	幼児が使う造形に関わる道具(ハサミ・カッター・絵具・クレパス等)を準備・手入れしておくこと 授業で扱える表現技術には限りがあるので、可能な限り自分で表現の幅を広げるために、本を読んだり、実際に製作してみたりすること			
達成度評価に関するコメント	授業中に課題を提示するので、次回の授業までに仕上げてくること。また、2名で担当し、各担当は課題の発表、期末に提出の課題、授業中の課題進行状況・発言回数で評価し、平均して成績評価する。			